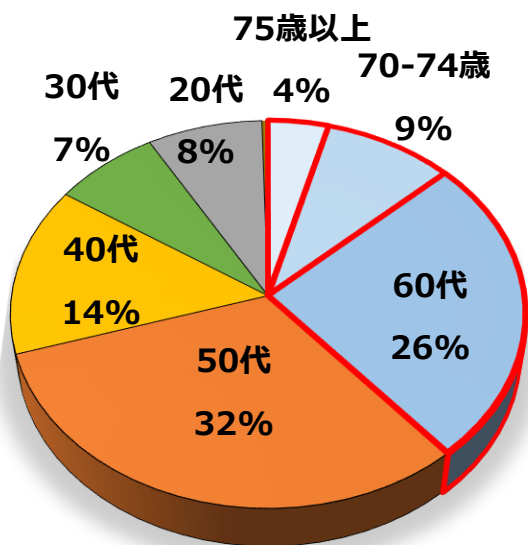


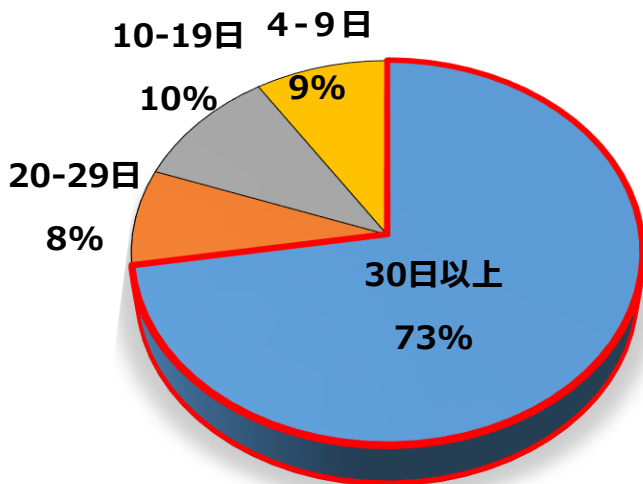
高年齢労働者の 転倒災害に注意してください

転倒災害の **4割** が高年齢労働者（60歳以上）によるもの。
高年齢労働者の転倒災害は休業日数30日以上が **7割**

転倒災害の年齢内訳（休業日数4日以上）



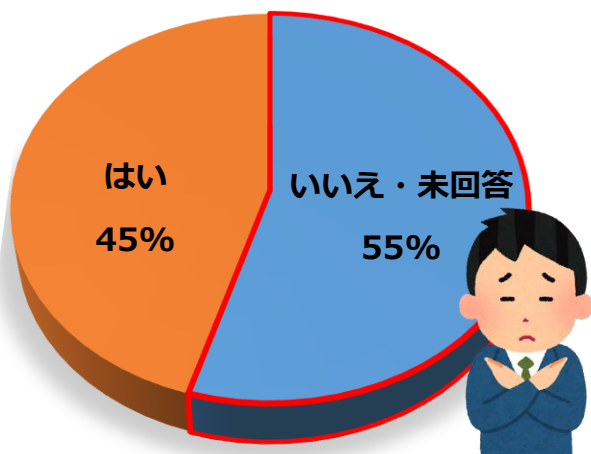
60歳以上の転倒災害における休業日数（休業日数4日以上）



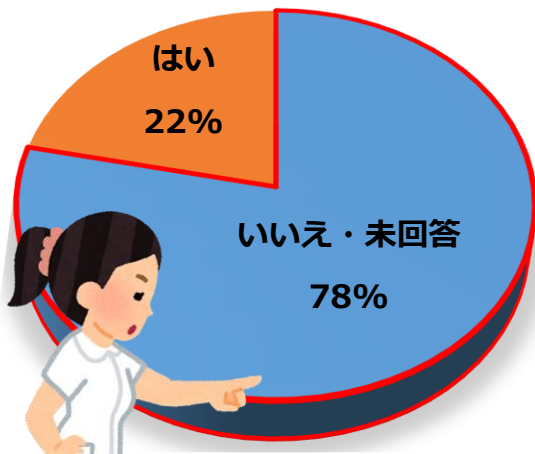
令和3年～令和5年福山署管内「死傷病報告書」より引用

転倒災害発生事業場に聞きました！

Q エイジフレンドリーガイドライン
に取り組んでいる



Q 転倒リスクチェックを行っている



令和6年度福山署管内「転倒災害防止対策に係る自主点検票」より引用

転倒災害防止には、高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン
（エイジフレンドリーガイドライン）への取り組みが**必要不可欠**です！

➔高年齢労働者の転倒災害防止対策については**裏面**で確認！

高齢労働者の転倒災害防止対策

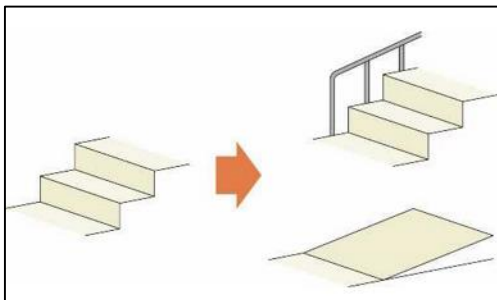
高齢になると筋力、平衡機能、視力（薄明順応）、反射神経の機能低下などにより転倒しやすくなることから、身体機能の低下を踏まえた対策が必要です。

ポイント1

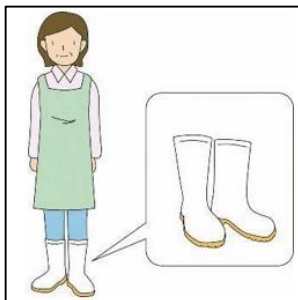
職場環境の改善をしよう

段差の解消、滑り止めの設置、明るさの確保、手すりの設置、段差の注意表示など身体機能の低下を補う設備・装置の導入をしましょう。

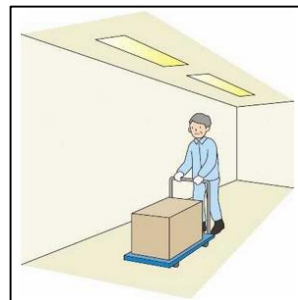
【手すりの設置・段差の解消】



【防滑靴の利用】



【照度の確保】



ポイント2

転倒リスクを客観的に把握しよう

【転倒等リスク評価セルフチェック票】



自身の考える身体機能と実際の身体機能がどれだけ乖離しているかをチェックして、転倒リスクを客観的に把握しましょう。



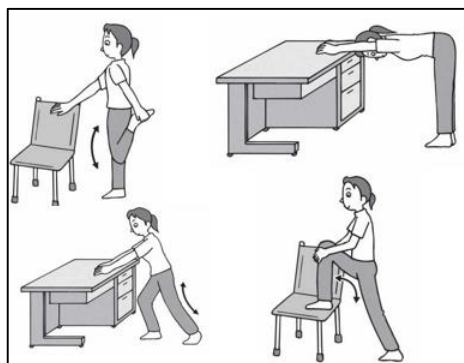
↑データはこちら



ポイント3

健康や体力の維持管理をしよう

【ストレッチの例】



身体機能の変化が労働災害リスクにつながる可能性があることを理解して、健康づくりに積極的に取り組みましょう。

転倒災害チェックリスト



「介護業務で働く人のための腰痛予防のポイントとエクササイズ」より引用